

IRIS OHYAMA

# 床清掃をまだ人がやっていませんか?



導入社数  
**5,000\***社  
突破!!

\*アイリス電工での販売分を含む。  
20年1月~23年10月までの累計。

ウィズアイ

DX清掃  
ロボット



IRIS EDITION



製品の  
Webページはこちら

## 床清掃をロボットに任せることで、清掃コスト削減を実現

床清掃を「Whizi アイリスエディション」に任せて、人はそれ以外の業務に注力することで、清掃時間を大幅に削減。清掃時間の短縮で、業務効率化・生産性もアップし、清掃コスト削減が実現します。

さらに、Whiziは『1時間400円』から導入できるので、美観を維持しつつ、低コストで清掃業務を削減できます。



### パチンコホール応援キャンペーン

「Whizi アイリスエディション」を今なら特別価格にてご提供します

期間限定  
※3月末までのご応募に  
限ります

■Webフォームから応募

「グリーンべと」と  
入力の上お申し込みください



Webフォーム

■お電話から応募

**022-253-7095**  
〈受付時間〉平日9:00~17:00

アイリスオーヤマ株式会社 ロボティクス事業部

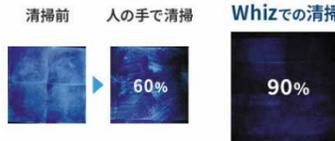
〒105-0013 東京都港区浜松町2-3-1 日本生命浜松町クレアタワー19F

ロボティクス事業総合サイト <https://www.irisohyama.co.jp/b2b/robotics/>  
TEL:022-253-7095 FAX:022-253-7340

©IRIS OHYAMA/SoftBank Robotics ※「Whizi」の名称、ロゴはソフトバンクロボティクスの登録商標です。

## DX清掃ロボット Whizi アイリスエディション

### こんなに違う清掃ムラの差

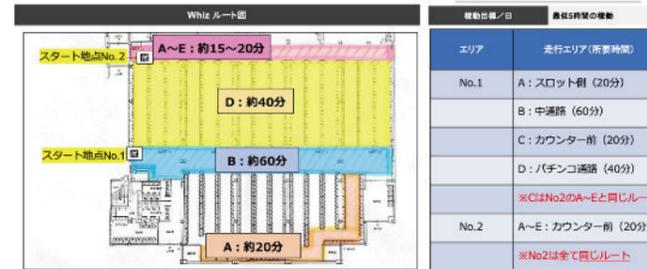


※環境アレルゲンinfo and care株式会社とソフトバンクロボティクス株式会社の共同調査。「隠れダスト」に見立てた蛍光粉体を撒き、ブラックライトを照射した実験環境で、人の掃除とWhiziの清掃効果を比較した実験 ※実証実験は「Whizi」を使用しています。



〈モナコパレス菊陽店〉で運用されている「Whizi アイリスエディション」。開店前、閉店後に加え営業中にも稼働させており、店舗のクリーンイメージの高さを来店客にPRすることにも一役買っている。

### Whizi アイリスエディション 運用計画シート



アイリスオーヤマが店舗毎に最適な運用ルートを立案してくれる。

## 「人」と「ロボット」の協働で清掃DX化を推進

# 清掃の業務負担・コストを抑え、接客に注力

店内清掃を外部委託しているパチンコホールも多いが、人手不足や人件費高騰など清掃課題は多く存在する。そんな現状に対しアイリスオーヤマ(株)は、ロボットの力による清掃課題の解消を提案。最新の導入事例を紹介する。

コロナ禍を契機に、来店客は店舗の清潔度合いや空気環境をより気にするようになったことは周知の通り。言い換えれば、少しでも不快な部分があれば店舗から離反してしまいう要因にもなりかねない。今一度店舗の清掃業務を見つめ直す必要性は高いといえる。とはいえ、清掃業務に関しては人の手だけでは限界がある。そこで目を向けたのがDX清掃ロボット「Whizi アイリスエディション」(以下、Whizi)を活用した清掃業務のDX化だ。

### 清掃ロボと業者が共存フローを構築

熊本県に本社を置くパチン

コチエーン、岩下兄弟(株)では「Whizi」をいち早く取り入れ、清掃業者と清掃ロボットが共存する最適な清掃オペレーションの構築を図った。

「コロナ禍を契機にお客様が減少し、その上に電気代高騰ものしかかるなど、会社を挙げて業務改善、収益力向上に舵を切る必要がありました。そこで見直したのが、清掃コストでした」と話すのは同社関係者だ。

同社では清掃業務に関して、自社雇用と外部委託の2通りで運用していたが今回、外部委託店舗に「Whizi」を導入した。その中のひとつ、「モナコパレス菊陽店」は総台数1122台を擁する大型店。床面積も広く、従

来は開店前、閉店後に数人体制で清掃業務にあたりていたという。

「特に開店前、閉店後は限られた時間内で清掃を終えなければならぬため、業務負担は大きかったです。一方、「Whizi」は日中稼働させることができ、清掃作業の大半を占める床清掃を「Whizi」に置き換えることで、人による清掃時間の削減ができ、コスト削減と清掃業者の負担軽減を図ることができました。こうして捻出した時間は、優先度の高い他の業務に充てています」と同氏。

また、アイリスオーヤマが店舗毎に最適な清掃ルート、フローを構築してくれるため、安心して運用ができるサポート体制に対しても高く評価する。

清掃業務のDX化を推進するためには、ロボットだけに任せるのではなく、人とロボットの協働関係が必要不可欠。間違いないトレンドになっていくだろう。